



代表取締役社長  
山田 隆持

## 株主の皆様へ

**お客様の視点でニーズをしっかりと掴み、一人ひとりにご満足いただける確かな価値を提供していくことで、お客様との絆をこれまで以上に深めていくこと。これがドコモの新たな成長に向けた道筋です。**

株主・投資家の皆様には、平素よりドコモの経営に多大なご理解とご支援を賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。またこの度、2008年6月20日に開催された定時株主総会及び取締役会において、当社の代表取締役社長に就任したことをご報告いたします。これまでの経験を活かしながら、社業と業界の発展に邁進し、この重責を全うしていく所存です。

日本の携帯電話市場が、成長期から成熟期へと移行したことを踏まえ、ドコモは、今後も持続的な成長を実現していくため、変革に向けた取り組みを進めています。その大きな転換期に社長を拝命した私が、強い決意で取り組んでいこうと考えていること、それは、4月に発表した「新ドコモ宣言」で皆様にお約束したことです。すなわち、お客様の視点でニーズをしっかりと掴み、お客様一人ひとりにご満足いただける確かな価値を提供していくことで、お客様との絆をこれまで以上に深めていくということです。

また、携帯電話が製品やサービスの垣根を越え、様々なものと融合しながら新たな進化を遂げようとしているなか、常にイノベーションによる先進性を発揮し、モバイルの新しい可能性を切り拓いていくことも追求していきます。お客様のニーズにあった、革新的なサービスを提供することで、お客様にお喜びいただきたいと考えています。

そして、お客様の声をお聞きするためには、お客様との接点である「現場」を重視していくことがとても重要だと考えています。私は現場原点主義の精神で、第一線に積極的に出て、現場の声を聞き、そして現場を自ら引っ張っていく覚悟です。

市場全体の契約数が1億を超え、新規加入者の獲得余地に限られる携帯電話市場ではありますが、多くの人びとの生活に欠かせなくなった携帯電話は、「電話」の領域を超えて、更なる進化を遂げる大きな可能性を有しています。そして、ドコモの5,300万人という顧客基盤は、携帯電話の進化を急速に進め、ドコモが成長を実現するための基盤となります。そのためにも、現在の私たちが全精力を挙げて推進していくべきことは、ドコモに信頼感を持っていただき、長くドコモを愛していただけるよう、「新ドコモ宣言」でお約束したことを着実に実行していくことだと考えています。全社員が結束し、取り組みを進めていくことで、新生ドコモの新たな成長軌道を描いていく考えです。株主・投資家の皆様には、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2008年7月

**山田 隆持**

代表取締役社長 山田 隆持